

科目名 Course Name	地域福祉の理論と方法Ⅱ Community Development Ⅱ						
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡先(質問等)	研究室:栄養棟3階か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外、会議時間外						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修、社会福祉主事任用資格に係る科目) 原則として「地域福祉の理論と方法Ⅰ履修者のみ履修可						
関連 DP	DP2 DP4 DP5						
授業の概要と到達目標	本講では、地域福祉におけるネットワーキングや社会資源の活用、地域福祉の推進方法を理解し、これらを説明できるようになることを目的とする。 ①地域福祉に関わる組織、専門職について説明できる。 ②ネットワーキングの意義と方法について説明できるようにする。 ③地域福祉活動の方法を説明できるようにする。 ④災害支援の実際について理解する。						
授業の方法	基本はテキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。ただし、理解を深めるため、演習、グループワーク、ディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料を配付するので、ファイリングなど工夫し、復習に利用すること。毎回リアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民の理解					
	L03	地域福祉の推進方法について例証できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	専門職としての基本を身につける。授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	「地域福祉のはじめかた」藤井博志編/ミネルヴァ書房 「地域福祉の理論と方法」新・社会福祉士養成講座/中央法規						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。履修上のルールを守らない場合は、減点対象とする。		30		
レポート/作品	外部講師講演についてレポートを課す。評価 S は講演の概要や何を学んだのかを明確にしていること。提出要領が遵守されていること。		10		
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			60	
その他					
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価の説明、諸注意等)
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認
2	授業内容	ネットワーキング① 意義と方法
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
3	授業内容	ネットワーキング② ネットワーキングの実際
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。まとめのレポート。
4	授業内容	ネットワーキング③ ネットワークの進め方
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
5	授業内容	社会資源の活用・調整・開発① 活用・調整・開発の意義
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。まとめのレポート。
6	授業内容	社会資源の活用・調整・開発②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
7	授業内容	社会資源の活用・調整・開発③
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
8	授業内容	災害に強い地域づくり①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
9	授業内容	災害に強い地域づくり②「外部講師:佐野市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター担当者(調整中) 社会福祉士」
	事前・事後学習	事前:災害ボランティアセンターについて把握しておくこと。 事後:講義後レポート。
10	授業内容	地域における福祉ニーズの把握方法と実際
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
11	授業内容	地域トータルケアシステムの構築の方法と実際①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
12	授業内容	地域トータルケアシステムの構築の方法と実際②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
13	授業内容	地域における福祉サービスの評価と方法①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
14	授業内容	地域における福祉サービスの評価と方法②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
15	授業内容	後期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する 事後:試験勉強